

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(4) 町民参加の推進		実施計画事業	1) 対話型まちづくり推進事業 (No.78)				
予算等事業名	町長とのふれあいトーク実施							
目的	行政と町民、地域が連携してまちづくりを行っていくために、対話する機会を積極的に持ち、町民同士の協力と支え合い、町民と行政との協力・連携により安全・安心で誰もが元気で暮らしやすいまちづくりに取り組む。							
内容	地区との共催により「町長とのふれあいトーク」を開催し、町と住民の連携したまちづくりのための積極的な対話機会を設ける。							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	「町長とのふれあいトーク」の開催(茶屋:42名、川匂:47名、釜野:12名、緑が丘:27名、百合が丘1・2・3:40名、元町北:32名、元町南:28名、中里:14名、富士見が丘1・2:41名、上町、中町:35名、下町:15名、梅沢、越地:25名、富士見が丘3、松根:12名、合計370名)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	参加人数				
前期(27年度)目標値	—				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	参加者はより多い方がいいが、一番の目的は対話を積極的に行い、町と地域が連携してまちづくりを進めることであるため、参加人数に目標値は定めていない。	
	370名				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0					
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	—
	【説明】	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 地区との共同開催により、相互間の積極的な対話を行うことができる。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 積極的な対話が図られているので、一定の成果は認められている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 地区との共同開催により実施しているので、費用は生じない。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 参加町民からも概ね実施内容は好評であり、より効果的・効率的な実施方法を検討しつつ継続する。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法(1会場ごとの地区数、日時、会場)の検討 ・参加人数を増加させる周知方法等の検討 	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町の施策を町民に直接伝えることのできる機会を確保することは重要である。また、町民の声を直接聴くことで、町と町民の距離感が縮まり、信頼関係の構築に繋がる。		
今後の方向性	より効果的・効率的な実施方法を検討する。		